SONY

3-211-161-**05** (1)

Data Projector

取扱説明書

ネットワーク編

お買い上げいただきありがとうございます。

VPL-CX155/CX125
VPL-CW125

・本機に付属のソフトウェアの使用権については、各ソフトウェアのソフトウェア使用許諾契約書をご参照ください。
・本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
・本機および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

商標について

・Windows、Microsoft は米国 Microsoft　Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
・Intel、Pentium は、Intel Corporation の登録商標です。
・Air Shot（エアーショット）はソニー株式会社の商標です。
・「UBQ-wLAN」はキャノンアイテック株式会社の商標です。

著作権について

本製品には、キャノンアイテック株式会社によって開発されたプログラム「UBQ-wLAN」が搭載されています。

目次

お使いになる前に

主な特長

本機はネットワークプレゼンテーションおよびコントロール対応のプロジェクターです。
プロジェクターのNETWORK端子（RJ45）にネットワークケーブルを接続することにより、有線／無線でLANに接続しているコンピューターの画像をプロジェクターに投影することが可能です。
また、離れたところからプロジェクターの電源の入／切や入力切り換えなどの操作やランプの使用時間などのプロジェクターの状況確認が可能です。

簡単インストール

ネットワークプレゼンテーション機能を使用する際には、あらかじめ使用するコンピューターにアプリケーションソフトウェア Projector Station for Air Shot Version 2をインストールしておきます。インストールは、付属のCD-ROMより画面の指示に従って簡単にインストールすることができます。

スピーディ、高画質転送／表示

スピーディに高画質で画面をプロジェクターから投影できるように、画像データを効率的に圧縮し、リアルタイムで画像データ転送を行っています。
このため、アニメーション効果などを使ったプレゼンテーションも可能です。（DVDなどの動画再生には適しておりません。）

マルチ接続

複数台のプロジェクターを設置する場合にも分配器などを使用することなく、1台のコンピューターから最大5台のプロジェクターに同時に画像を投影することが可能です。

Webブラウザコントロール

コンピューターのWebブラウザ経由で、プロジェクターの制御や状態確認が可能です。

ネットワークによる状態監視、システム拡張

有線／無線LANに接続しているコンピューターから、プロジェクターの電源の入／切や入力切り換えなどの操作や状況確認が可能です。
また、ランプの交換時期やエラー情報などをあらかじめ設定したアドレスにメールでお知らせするメールレポート機能を持ち、SNMPにも対応しています。

転送される画像の画素数について

コンピューターから本機へ画像を転送すると、画像はXGAまたはWXGA（VPL-CW125の場合）になります。コンピューターの画像の解像度がXGA/WXGAより高い場合は、投影される画質は劣化します。これを避けるためには、アプリケーションソフトウェアの[オプション設定]にある[接続設定]で[PCのデスクトップをプロジェクターの解像度に合わせる]にチェックし、PCのデスクトップが自動的にXGA/WXGAになるようにするか、ま

たは、コンピューター側の解像度をXGA/WXGAにしてください。
VPL-CW125ではコンピューターの画面解像度が1280 × 768 ～ 1360 × 768の場合、WXGAで表示されます。コンピューターの画面解像度がWXGAの場合、VPL-CX86/CX76/FE40/FX40/CX155/CX125では画面の上下に黒い枠をつけて表示されますが、VPL-CW125ではほぼ画面サイズいっぱいにワイド表示されます。(WXGAでもコンピューターとプロジェクターのわずかな解像度の違いから、上下または左右に黒い枠がついて表示されることがあります)
VPL-CW125を使用していて、WXGAでの画面解像度が出力できないコンピューターをお使いの場合は、[PCのデスクトップをプロジェクターの解像度に合わせる]のチェックをはずしてご使用ください。このチェックが入っていた場合、ProjectorStation for AirShot Versin2はPCの画面解像度が1280 × 768 ～ 1360 × 768の場合、画面解像度を変更せずそのまま出力します。コンピューターの画面解像度がそれ以外の場合は、画面解像度を1280 × 768に変更して出力します。その際に画面解像度がコンピューターのディスプレイドライバーの都合で変更できない場合は、[PCのデスクトップをプロジェクターの解像度に合わせる]のチェックがなかったものとして動作します。
1台のコンピューターから複数台のプロジェクターに接続する場合、2台目以降に接続したプロジェクターは、1台目のプロジェクターと同じ解像度で接続されます。そのためVPL-CW125とそれ以外の機種が混在している場合は、VPL-CW125を2台目以降に接続するようにしてください。

バージョンの互換性について

VPL-CX155/CX125/CW125シリーズなどに搭載のネットワークプレゼンテーション機能とVPL-CX86/CX76に搭載のAir Shot Version 2には互換性があります。
両方をお使いで、すでにアプリケーションソフトウェアProjector Station for Air Shot Version 2 (Version 1.xx)がインストールされている場合は、VPL-CX155/CX125/CW125シリーズに付属のアプリケーションソフトウェアProjector Station for Air Shot Version 2 (Version 2.xx)をコンピューターにインストールしてください。すでにインストールされているAir Shot Version 2 (Version 1.xx)は自動的にアンインストールされます。

両方をお使いで、初めてアプリケーションソフトウェアをインストールする場合は、VPL-CX155/CX125/CW125シリーズに付属のアプリケーションソフトウェアProjector Station for Air Shot Version 2 (Version 2.xx)をコンピューターにインストールしてください。また、VPL-CX86/CX76でシンプルモードやUSBワイヤレスLANモジュールをご使用の場合は、ドライバーのインストールやシンプルモードの設定が必要です。
ドライバーのインストールはVPL-CX86/CX76に付属のCD-ROMかUSB

ワイヤレスLANモジュール（MEMORY）内のUSB WL LAN Driverフォルダより行ってください。シンプルモードの設定はVPL-CX-86/CX76に付属の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- VPL-CX86/CX76に付属のUSBワイヤレスLANモジュールはWindows Vistaに非対応のため、Windows Vista上でシンプルモードは使用できません。
- Projector Station for Air Shot Version 2は、常に最新版をご使用ください。バージョンアップの際は、バージョンを事前に確認し、ご使用のバージョンより古いバージョンをインストールしないようご注意ください。
- [オプション設定]に有線LAN機能用の[プロジェクター登録設定]タブが表示されますが、VPL-CX-86/CX76では使用できません。
- [オプション設定]にシンプルモード機能用の[シンプルモード設定]タブが表示されますが、VPL-CX155/CX125/CW125シリーズなどでは使用できません。

VPL-CX85/CX75に搭載のAir ShotとVPL-CX86/CX76に搭載のAir Shot Version 2、VPL-CX155/CX125/CW125シリーズなどに搭載のネットワークプレゼンテーション機能 には互換性がありません。
VPL-CX85/CX75とVPL-CX155/CX125/CW125/FE40/FE40L/FX40/FX40L/CX86/CX76の両方をお使いになる場合は、以下の２つの方法があります。

- ソフトウェアをバージョンアップしない
  VPL-CX85/CX75をお使いの場合は、Projector Station for Air Shotを起動します。VPL-CX155/CX125/CW125/FE40/FE40L/FX40/FX40L/CX86/CX76をお使いの場合は、Projector Station for Air Shot Version 2を起動します。シンプルモードをお使いの場合は、VPL-CX85/CX75およびVPL-CX86/CX76に付属のUSBワイヤレスLANモジュールをお使いください。
- VPL-CX85/CX75のソフトウェアをバージョンアップする
  VPL-CX85/CX75のソフトウェアを"メモリースティック"を用いてAir Shot Version 2 Lightにバージョンアップします。バージョンアップソフトウェアおよび取扱説明書はVPL-CX155/CX125/CW125シリーズに付属のCD-ROM内のAir Shot Version 2 Lightフォルダに入っていますので、詳細はそちらをご覧ください。

システム動作環境

Projector Station for Air Shot Version 2を動作させるには、次の環境が必要です。

対応コンピューター

CPU：Intel Pentium III 600MHz相当以上かつOSが推奨するCPU
メモリー：64MB以上、推奨128MB以上かつOSが推奨するメモリ

ハードディスク：10MB 以上の空き容量

その他必要な装置：CD-ROM ドライブ

対応 OS

- Microsoft Windows 98SE
- Microsoft Windows Me
- Microsoft Windows 2000
- Microsoft Windows XP Home Edition
- Microsoft Windows XP Professional
- Microsoft Windows Vista Home Basic
- Microsoft Windows Vista Home Premium
- Microsoft Windows Vista Business
- Microsoft Windows Vista Ultimate

対応ディスプレイ

色解像度：16 bit、24 bit、32 bit

対応ブラウザ

Internet Explorer 5/6/7

対応ネットワーク

RJ45（10BASE-T/100BASE-TX）

ご注意

推奨環境のすべてのコンピューター、OS について動作を保証するものではありません。

準備する

コンピューターの準備をする

ネットワークプレゼンテーション機能を利用する際にはあらかじめアプリケーションソフトウェア Projector Station for Air Shot Version 2（Version 2.00 以上）を使用するコンピューターにインストールする、またはハードディスクや外部メモリー*（"メモリースティック"、USB メモリーなど）にフォルダをコピーする必要があります。

* ハードディスクや外部メモリーにフォルダをコピーする場合は、Projector Station for Air Shot Version 2 をコンピューターにインストールしなくてもご利用いただけます。

インストールまたはフォルダのコピーは付属の CD-ROM から行います。

ご注意

Windows 2000 Professional、Windows XP Home Edition ／ Professional、Windows Vista Home Basic ／ Home Premium ／ Business ／ Ultimate をお使いの場合は、管理者用のアカウントでログオンしてください。

Projector Station for Air Shot Version 2 をインストールする

1 付属のCD-ROMをコンピューターの CD-ROM ドライブに入れる。

アプリケーションソフトウェアのインストール画面が表示されます。



ご注意

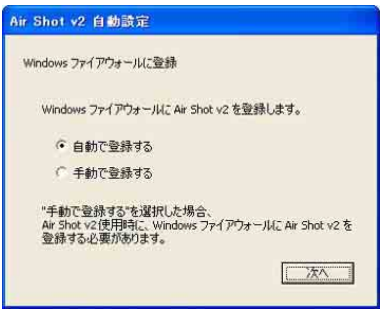
インストール画面が自動的に表示されない場合は、［マイコンピューター］- [CD-ROM ドライブ] -［Dp_Inst］を選んでください。

2 **Projector Station for Air Shot v2 を選択し、［Install］をクリックする。**

3 **ウィザードの指示に従ってアプリケーションソフトウェアをインストールする。**

Windows XP SP2/Vista をお使いの場合

途中で以下の画面が表示されたら、［自動で登録する］のラジオボタンにチェックをつけて［次へ］をクリックします。



インストールが終了すると「自動設定終了」が表示されます。

4 **このまま投影する場合は、「このまま Air Shot v2 を起動してプロジェクターと接続する」のチェックボックスにチェックを付け［OK］をクリックする。**



Projector Station for Air Shot Version 2 が自動的に起動します。

投影しない場合は、このまま［OK］をクリックする。

Projector Station for Air Shot Version 2 をコンピューターにインストールせず、ハードディスクや外部メモリーから起動する

1 **コンピューターに外部メモリー（“メモリースティック”、USB メモリーなど）を挿入する。**

ハードディスクにコピーする場合は必要ありません。

2 **付属の CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに入れる。**

アプリケーションソフトウェアのインストール画面が表示されますが、Exit ボタンを押して終了します。

3 **[マイコンピューター] を開き、[CD-ROM ドライブ] にマウスカーソルを合わせて右クリックを押す。**

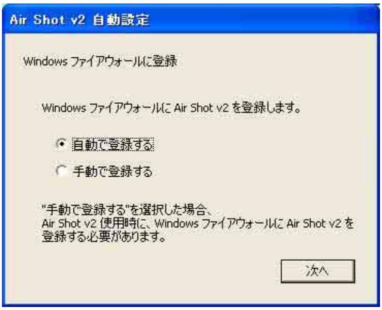
項目一覧が表示されるので [開く（O）] を選択します。

4 **[PjStation for Air Shot v2] のフォルダをハードディスクや外部メモリーにコピーする。**

5 **[AutoConfig.exe] を実行する。**

Windows XP SP2/Vista をお使いの場合

途中で以下の画面が表示されたら、[自動で登録する] のラジオボタンにチェックを入れて [次へ] をクリックします。



インストールが終了すると「自動設定終了」表示されます。

このまま投影する場合は、「このまま Air Shot v2 を起動してプロジェクターと接続する」のチェックボックスにチェックをつけ [OK] をクリックしてください。



Projector Station for Air Shot Version 2 が自動的に起動します。

投影しない場合は、このまま［OK］をクリックする。

［AutoConfig.exe］を実行した後は［PjstnASv2.exe］でアプリケーションを起動してください。

使用するコンピューターを変更する場合は［AutoConfig.exe］を実行してください。

プロジェクターの準備をする

設定をする

1 **プロジェクターの NETWORK 端子にネットワークケーブルを接続する。**

2 **プロジェクターの電源を入れる。**

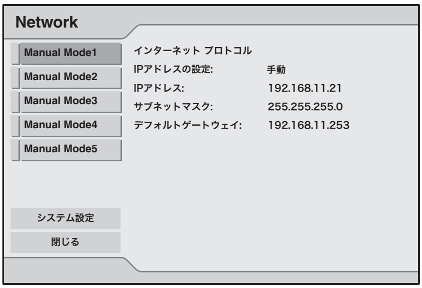
3 **リモートコマンダーの INPUT C または AIR SHOT キーを押す。**

ネットワークプレゼンテーションのホーム画面が表示されます。



4 **ENTER キーを押す。**

設定メニュー画面が表示されます。



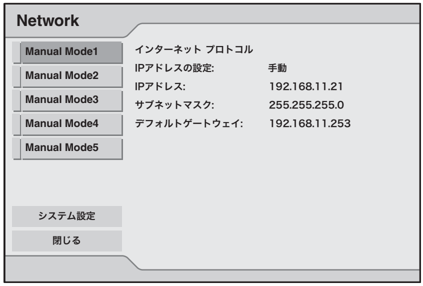
5 **[設定変更] を選択し、ネットワーク設定の各項目を設定する。**

ご注意

ネットワークプレゼンテーションをご使用の場合は、本機の機能設定メニューの「スタンバイモード」を「標準」にしてご使用ください。

プロジェクターの設定項目

ネットワークプレゼンテーションのホーム画面で Enter キーを押すと、設定メニュー画面が表示されます。この画面で使用するモードを切り換えたり、設定を変更することができます。



ソフトウエアキーボードの使いかた

文字 / 数字入力時にソフトウエアキーボードが表示されます。

1 **↓/↑/→/← で文字を選択し、Enter キーを押す。**

選択した文字が表示欄の文字カーソルの位置に表示されます。

2 **手順 1 を繰り返し、入力する。**

3 **入力が終了したら、↓/↑/←/→ で [OK] を選び、Enter キーを押す。**

入力した文字が確定され、ソフトウェアキーボードが閉じます。

文字カーソルの一つ前の文字を削除するには

↓/↑/←/→ で [削除] を選び、Enter キーを押す。

入力を最初からやり直すには

↓/↑/←/→で［全クリア］を選び、
Enterキーを押す。
入力した文字がすべて削除されます。

スペースを入力するには

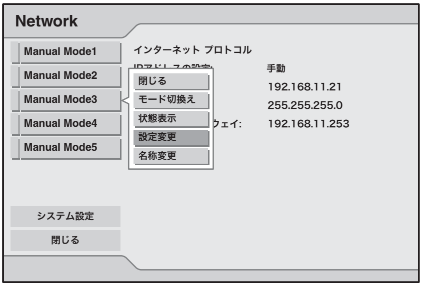
↓/↑/←/→で［スペース］を選び、
Enterキーを押す。

各モードを設定する

設定メニュー画面では、現在使用されているモードの左端が水色で表示されます。使用するモードの切り換え、各モードの名称や設定の変更ができます。

■設定項目メニュー（アクションメニュー）を表示する

選択されている項目が、黄色でハイライト表示されます。↓/↑ キーで移動します。右側には現在の設定が表示されます。Enter キーを押すと、設定項目メニュー（アクションメニュー）が表示されます。



項目	機能
閉じる	アクションメニューを閉じます。
モード切換え	選択したモードが有効になります。
状態表示 （使用中のモードのみ）	現在使用されているモードの状態が表示されます。
設定変更	設定を変更する画面が表示されます。
名称変更	モード名を変更します。 半角英数字、記号で最大 16 文字まで入力できます。

■状態を表示する

アクションメニューから［状態表示］を選ぶと、使用されているモードの状態が表示されます。

項目	内容
インターネット プロトコル	IP アドレスの設定（自動／手動）、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、プライマリ／セカンダリ DNS サーバ、DHCP サーバ、リース開始／終了時間を表示します。 リース開始／終了時間とは、DHCP サーバーから自動的に割り当てられる IP アドレスの有効期間です。
PC 登録リスト	登録された PC のアドレスを表示します。
閉じる	状態表示画面を閉じます。

■設定を変更する

アクションメニューで［設定変更］を選ぶと、選択したモードのインターネットプロトコル、PC 登録リストを変更する画面に切り換わります。設定したい項目を選び、Enter キー、または右キーを押すと、それぞれの設定項目に移動します。変更したい項目を入力するには、Enter キー、または右キーを押します。設定終了後は左キーで項目画面に戻ります。［OK］を選択すると、設定内容が保存され設定メニュー画面に戻ります。［キャンセル］を選択すると、保存されずに設定メニュー画面に戻ります。

項目		機能
インターネット プロトコル		IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバなどのインターネットプロトコル設定を行います。
	IP アドレスの設定	［自動（DHCP）］、［手動］を選択できます。［手動］を選択したときはこの画面の［IP アドレス］、［サブネットマスク］、［デフォルトゲートウェイ］を設定してください。
	IP アドレス	プロジェクターの IP アドレスを設定してください。（1.0.0.0 ～ 223.255.255.255）
	サブネットマスク	プロジェクターのサブネットマスクを設定してください。（128.0.0.0 ～ 255.255.255.254）
	デフォルトゲートウェイ	プロジェクターのデフォルトゲートウェイを設定してください。（1.0.0.0 ～ 223.255.255.255）
	プライマリ DNS サーバ	優先して使用する DNS サーバを設定してください。（1.0.0.0 ～ 223.255.255.255）
	セカンダリ DNS サーバ	代替の DNS サーバを設定してください。（1.0.0.0 ～ 223.255.255.255）
PC 登録リスト		プロジェクターと異なるネットワークセグメント（サブネット）のコンピューターを接続する場合、IP アドレスの欄に、IP アドレスまたはネットワークアドレス / ブロードキャスト IP アドレスを入力します。ネットワークアドレス / ブロードキャスト IP アドレスを入力した場合は、サブネットマスクをリストより選んで、登録してください。IP アドレス、ネットワークアドレス / ブロードキャスト IP アドレスは 10 個まで登録できます。

システム設定をする

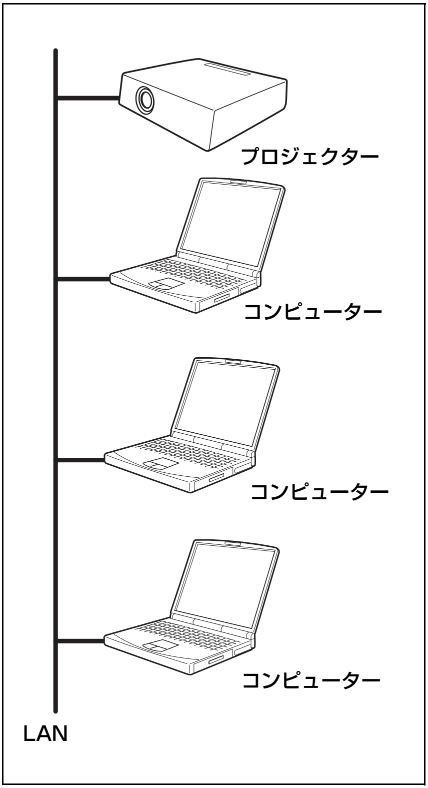
設定メニュー画面から［システム設定］を選ぶと、［システム設定］画面が表示されます。設定を変更したい項目を選び、Enter キー、または右キーを押すとそれぞれの項目の設定画面が表示されます。変更したい項目を入力するには Enter キー、または右キーを押します。設定終了後は左キーで項目画面に戻ります。
［OK］を選択すると、設定内容が保存され設定メニュー画面に戻ります。
［キャンセル］を選択すると、保存されずに設定メニュー画面に戻ります。

項目	機能
ネットワーク	プロジェクターのニックネーム、グループ名、パスワードを入力します。
ニックネーム	プロジェクターのニックネームを、最大で 24 文字（半角英数字記号）で入力します。
グループ名	接続を制限する場合に設定します。 プロジェクターへ接続できるグループ名を、最大で 8 文字（半角英数字記号）で入力します。 **ご注意** 接続するコンピューターのアプリケーションソフトウェアの［プロファイル設定］タブの［グループ名］と異なるグループ名を設定すると、アプリケーションソフトウェアにプロジェクターボタンが表示されなくなります。
パスワード	接続を制限する場合に設定します。 プロジェクターに接続するためのパスワードを最大で 32 文字（半角英数字記号）で入力します。 **ご注意** ・パスワード入力の際には、確認のため再入力が必要です。 ・接続するコンピューターのアプリケーションソフトウェアの［プロファイル設定］タブの［パスワード］と異なるパスワードを設定すると、プロジェクターに接続できなくなります。
情報	ネットワークの各機能のバージョンを表示します。

接続する

接続例

ワイヤードで LAN に接続する

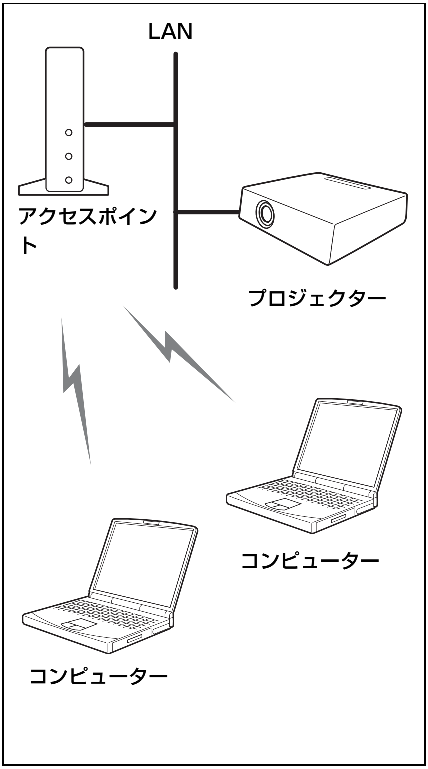


ご注意

・LAN に接続するときはネットワーク管理者へご相談ください。

・異なるネットワークセグメント（サブネット）のプロジェクターとコンピューターを接続する場合は、プロジェクター側で [PC 登録リスト]（14 ページ)、コンピューター側で [プロジェクター登録設定]（23 ページ）の設定を行ってください。

アクセスポイントを使用してコンピューターをワイヤレスで接続する

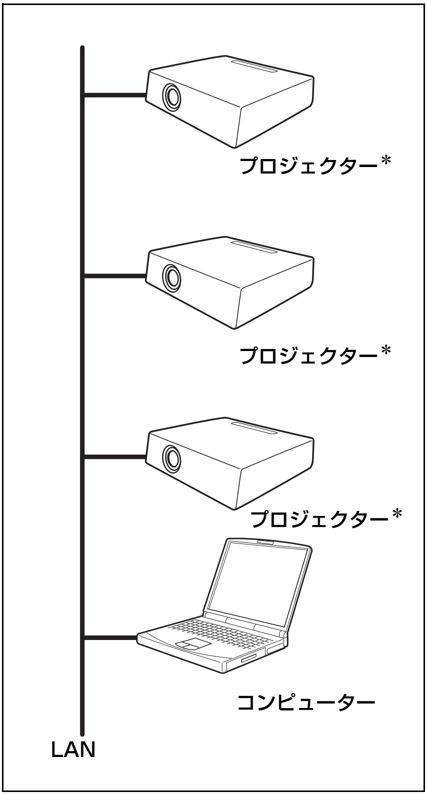


ご注意

・LAN に接続するときはネットワーク管理者へご相談ください。

・異なるネットワークセグメント（サブネット）のプロジェクターとコンピューターを接続する場合は、プロジェクター側で [PC 登録リスト]（14 ページ)、コンピューター側で [プロジェクター登録設定]（23 ページ）の設定を行ってください。

複数台のプロジェクターに同時に接続する



* 同時に接続できるプロジェクターは最大5台です。

ご注意

・LANに接続するときはネットワーク管理者へご相談ください。
・ご使用のコンピューターによっては、5台同時に接続できなくなる場合があります。
・異なるネットワークセグメント（サブネット）のプロジェクターとコンピューターを接続する場合は、プロジェクター側で[PC登録リスト]（14ページ）、コンピューター側で[プロジェクター登録設定]（23ページ）の設定を行ってください。

プロジェクターから接続／切断する、または切り換える

接続する

1 プロジェクターの電源を入れ、リモートコマンダーのINPUT CまたはAIR SHOTキーを押す。

ネットワークプレゼンテーションのホーム画面が表示されます。

2 Projector Station for Air Shot Version 2を起動する。

起動するとタスクトレイに［］が表示されます。
インストール時に［スタートアップに登録する。］が選択されていれば、コンピューターの電源を入れると自動的に起動します。

3 タスクトレイの［］アイコンを右クリックし、［開く］を選ぶ。

Projector Station for Air Shot Version 2のメインウィンドウが開きます。





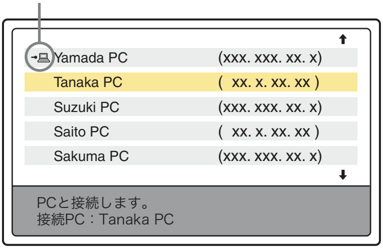
4 リモートコマンダーのAIR SHOTキーを押す。

プロジェクターに接続しているコンピューターの一覧が表示されます。

5 リモートコマンダーの↑または↓キーを押してコンピューターを選択し、ENTERキーを押す。

コンピューターに接続確認メッセージが表示されるので、［はい］を押すと接続されます。

接続中表示される。



ご注意

・異なるネットワークセグメント（サブネット）のプロジェクターとコンピューターを接続する場合は、プロジェクター側で[PC登録リスト]（14ページ）、コンピューター側で[プロジェクター登録設定]（23ページ）の設定を行ってください。
・一覧表には最大100台のコンピューターが表示されます。
・お使いのコンピューターによっては接続するまでに時間がかかる場合があります。
・ノート型のコンピューターなどでProjector Station for Air Shot Version 2を起動しているときは、外部モニターへ信号を出力することができなくなることがあります。
・アプリケーションソフトウェアの設定で［プロジェクターからの接続／切断要求時の動作］を［常に許可する］または［常に拒否する］に設定すると、接続確認メッセージは表示されず常に接続／切断を許可／拒否します。
・プロジェクターとコンピューターが接続されているときは、コンピューターのデスクトップの解像度を変更しないでください。接続が切れる場合があります。

切断する

1 リモートコマンダーのAIR SHOTキーを押す。

2 リモートコマンダーの↑または↓キーを押して接続中のコンピューターを一覧より選択し、ENTERキーを押す。

コンピューターに接続確認メッセージが表示されるので［はい］を押すと切断されます。

切り換える

1 リモートコマンダーのAIR SHOTキーを押す。

2 リモートコマンダーの↑または↓キーを押して接続したいコンピューターを一覧より選択し、ENTERキーを押す。

コンピューターから接続／切断する、または切り換える

接続する

1 「接続する」（17 ページ）の手順 1、2、3 を行う。

2 接続するプロジェクターの［プロジェクター］ボタンをクリックして、接続する。



プロジェクターボタン

ご注意

- 異なるネットワークセグメント（サブネット）のプロジェクターとコンピューターを接続する場合は、プロジェクター側で [PC 登録リスト]（14 ページ）、コンピューター側で [プロジェクター登録設定]（23 ページ）の設定を行ってください。
- お使いのコンピューターによっては接続するまでに時間がかかる場合があります。
- ノート型のコンピューターなどで Projector Station for Air Shot Version 2 を起動しているときは、外部モニターへ信号を出力することができなくなることがあります。

切り換える

メインウィンドウで接続中のプロジェクターボタンをクリックし、接続したいコンピューターを選択してください。

切断する

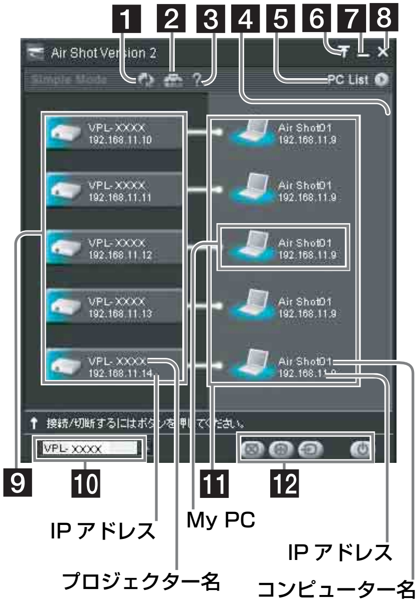
メインウィンドウのプロジェクターボタンをクリックし、切断します。

メインウインドウの各部の名称と働き

1 台のプロジェクターが接続されている場合



複数台のプロジェクターが接続されている場合



項目	機能
1［更新］ボタン	プロジェクター一覧、接続中のコンピューター、接続可能コンピューター一覧を更新します。
2［オプション設定］ボタン	Projector Station for Air Shot Version 2 の設定画面を開きます。 プロジェクターと接続していないときに設定画面が表示できます。
3［ヘルプ］ボタン	Projector Station for Air Shot Version 2 ヘルプトピックスを表示します。
4 スクロールバー	プロジェクターが 6 台以上存在する場合表示されます。

項目	機能
5［PC List］ボタン	を押すと、接続可能なコンピューターの一覧が表示されます。を押すと表示が消えます。
6［ツールバー切換え］ボタン	を押すとプロジェクターコントロール用のツールバーのみが表示され、ボタンを押すと画面全体が表示されます。
7［最小化］ボタン	Projector Station for Air Shot Version 2 のメインウィンドウを最小化します。
8［閉じる］ボタン	Projector Station for Air Shot Version 2 のメインウィンドウを閉じます。
9［プロジェクター］ボタン	接続可能なプロジェクターのアイコン、プロジェクター名（プロジェクターにニックネームが設定されている場合はニックネーム）、IP アドレスがボタンに表示されます。プロジェクターと接続または切断をするときクリックします。 またボタン上で右クリックし［プロジェクター Web 表示］を選択すると、設定／操作用の Web 画面を開くことができます。
10 コントロールプロジェクター選択メニュー	プロジェクターコントロールボタンで操作するプロジェクターを選択します。 プロジェクターが 1 台のときは表示されません。

項目	機能
11 接続中のコンピューター表示	プロジェクターに接続されているコンピューターのアイコン、コンピューター名、コンピューターの IP アドレスが表示されます。コンピューター名は［オプション設定］画面で変更できます。プロジェクターに接続されているコンピューターがない場合は表示されません。
12 プロジェクターコントロールボタン	コントロールプロジェクター選択メニューで選択されたプロジェクターの操作をすることができます。プロジェクターが一台の場合は、そのプロジェクターの操作になります。 ［消画］ボタン 画面を一時的に消したいときクリックします。もう一度クリックすると、元に戻ります。 ［フリーズ］ボタン 画面を停止させたいときクリックします。もう一度クリックすると、元に戻ります。 ［入力切換え］ボタン 入力を切り換えたいときクリックします。 ［電源オン／スタンバイ］ボタン プロジェクターの電源を入れたり、スタンバイにしたいときにクリックします。

［オプション設定］画面の使いかた

Projector Station for Air Shot Version 2 の各種設定をすることができます。

Projector Station for Air Shot Version 2 の設定画面を開く

Projector Station for Air Shot Version 2 のメインウィンドウで［ ］ボタンをクリックする。



［オプション設定］ダイアログボックスが表示されます。

ご注意

［オプション設定］はプロジェクターと接続していない場合のみ開くことができます。

［オプション設定］画面のタブ名称と働き

詳細は、メインウィンドウの［ ］ボタンをクリックして、オンラインヘルプを表示し、参照してください。

基本設定タブ

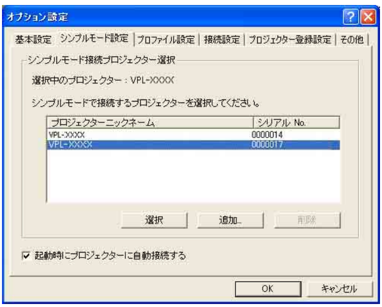


基本的な設定を行います。
選択されている LAN モジュールで接続可能なプロジェクターが検索できない場合は、優先順位に基づいて次の LAN モジュールで検索が行われます。ネットワークケーブル（RJ45）がコンピューターに接続されていない場合には、自動で検索が行われないことがあります。

ご注意

本機では [USB ワイヤレス LAN モジュールをシンプルモードで使用する] は使用しません。チェックボックスにチェックしないでください。

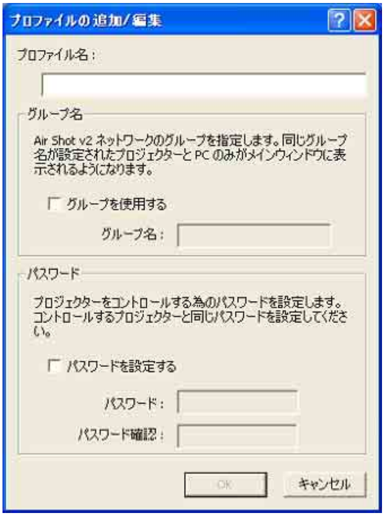
シンプルモード設定タブ



本機では使用しません。

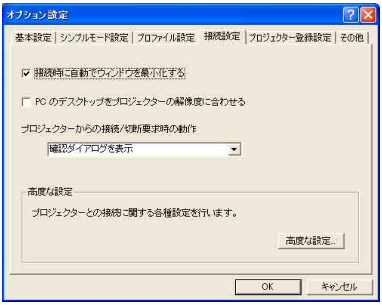
プロファイル設定タブ





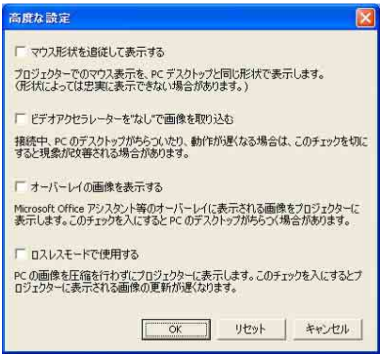
プロジェクターと接続する際のプロファイルを設定します。

接続設定タブ



ご注意

[PC のデスクトップをプロジェクターの解像度に合わせる] にチェックがはいっている場合、ProjectorStation for AirShot Versin2 のウィンドウの位置によっては、ウィンドウが画面の外に表示されてしまう場合があります。



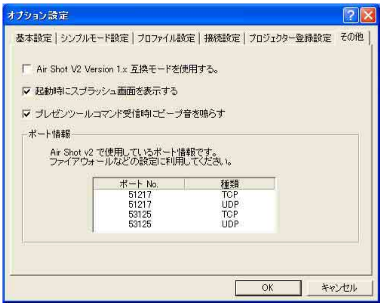
プロジェクターと接続する際の詳細な設定を行います。

プロジェクター登録設定タブ



コンピューターと異なるネットワークセグメント（サブネット）のプロジェクターと接続する場合、IP アドレスを登録します。100 台までのプロジェクターを登録することができます。

その他タブ



その他の設定を行います。
このバージョンの Projector Station for Air Shot Version 2 でシンプルモードを使用するときは、[Air Shot v2 version 1.x 互換モードを使用する] チェックボックスをチェックしてください。基本設定タブの [USB ワイヤレス LAN モジュールをシンプルモードで使用する] とシンプルモード設定タブが使えるようになります。

VPL-CX155/CX125/CW125 などのシリーズのみで使用する場合はチェックをしないでください。

Web 経由で設定・操作する

コンピューターからプロジェクターの情報を見たり、プロジェクターを遠隔操作したりすることができます。お使いになる機器の接続を確認し、電源を入れてください。

コンピューターからアクセスする

プロジェクターの Web ページには下記のどちらかの方法でアクセスすることができます。

Projector Station for Air Shot Version 2 のメインウィンドウでアクセスしたいプロジェクターボタンを右クリックし、表示された［プロジェクター WEB 表示］をクリックして、アクセスする。

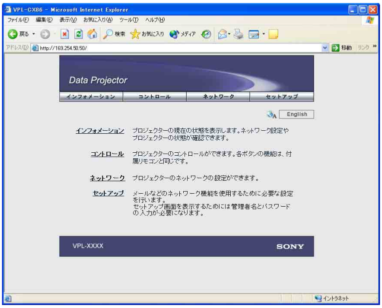


コンピューターのブラウザ（Internet Explorer 5/6/7）を起動し、アドレスに［http://xxx.xxx.xxx.xxx（プロジェクターの IP アドレス）］と入力し、アクセスする。

ご注意

コンピューターからプロジェクターにアクセスする際、ブラウザの設定が［プロキシサーバーを使用する］になっている場合は、プロジェクターの IP アドレスを［プロキシサーバーを使用しない］に設定してください。

アクセスすると次のようなインデックス画面が立ち上がります。



プロジェクターの状態を確認する（インフォメーション）

［インフォメーション］をクリックします。

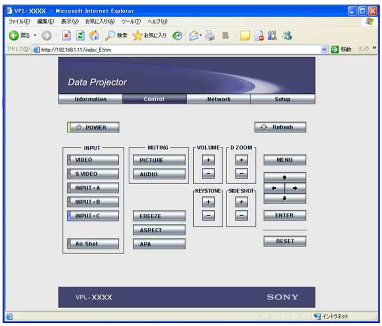
プロジェクターの現在の状態をコンピューター上で確認できます。この画面は確認のみで、設定の変更はできません。



プロジェクターを操作する（コントロール）

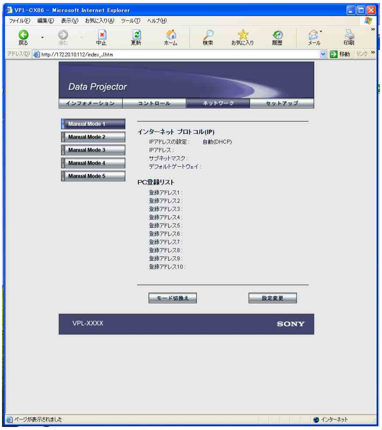
［コントロール］をクリックします。

コンピューターの画面上でプロジェクターを操作できます。各ボタンの働きは、本機に付属のリモートコマンダーの同名ボタンと同じになります。

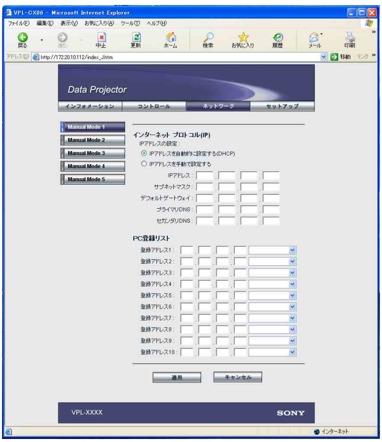


接続モードを設定する

［ネットワーク］をクリックします。
モード切換えと各モードの設定ができます。
モードを切り換えるには、モードボタンをクリックし、［モード切換え］をクリックします。

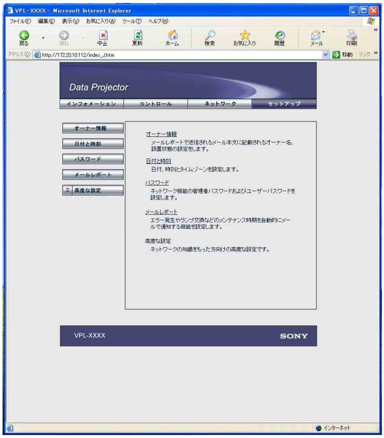


各モードの設定を変更するには、変更したいモードボタンを選び、［設定変更］をクリックします。設定を変更し、［適用］ボタンをクリックすると、プロジェクターに反映されます。



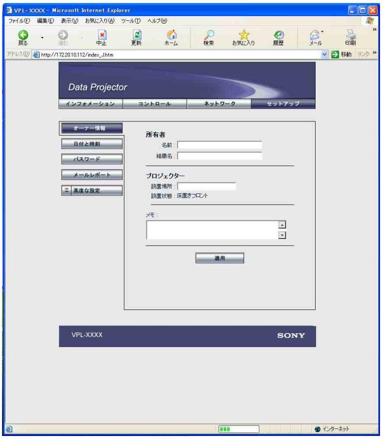
設定する

「セットアップ」をクリックします。
セットアップメニュー画面が表示されます。
所有者情報や日時、パスワード、メールレポートの設定ができます。各画面で入力した情報、変更した設定などは、各画面下方の「適用」をクリックするとプロジェクターに反映されます。



オーナー情報

ここで設定された情報はメールレポート機能で使用されます。



所有者

所有者の情報を入力します。

プロジェクター

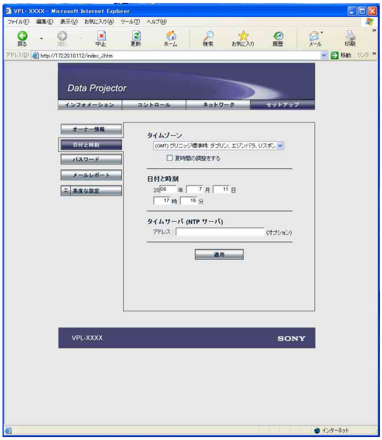
プロジェクターの設置場所を入力します。

メモ

メモを入力しておくことができます。

日付と時刻

日時の設定は、メールの自動送信の際に必要です。



タイムゾーン

お住まいの地域を選びます。

日付と時刻

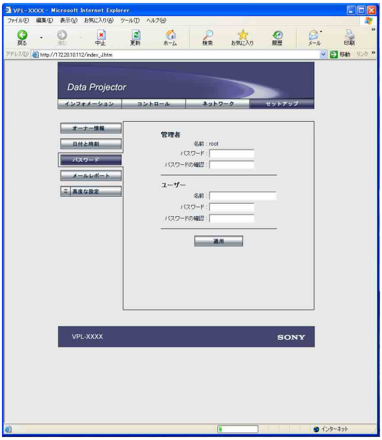
年月日および時刻を入力します。
(YY, MM, DD, HH:MM)

タイムサーバー

正確な時刻情報を自動取得するためのタイムサーバーのアドレスを入力します。

パスワード

管理者、ユーザーそれぞれにパスワードを設定できます。管理者の名前は「root」に固定されています。



ご注意

・パスワードを変更する場合は、設定されているパスワード（*****）を削除してから、新しいパスワードを入力してください。

・パスワードを忘れた時は、テクニカルインフォメーションセンターへお問い合わせください。

メールレポート

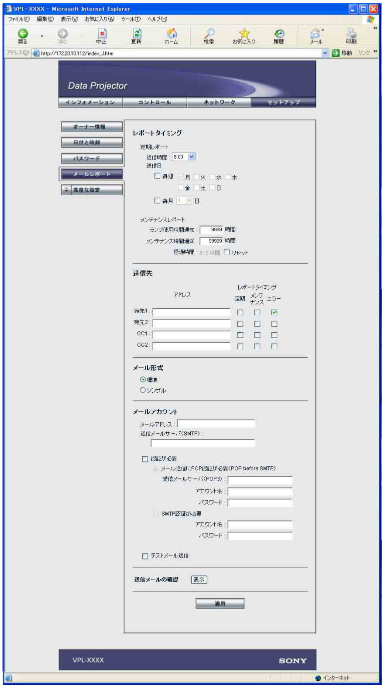
メールレポート機能を使って、次のことができます。

・プロジェクターの設置状況やユーザー情報を定期的に通知します。送信日も指定できます（定期レポート）。

・プロジェクターにエラーが発生した場合、直ちにメールで通知します（エラー通知）。

・ランプの使用時間があらかじめ指定しておいた時間に到達した場合、ランプの交換時期がきたことをメールで通知します（ランプ使用時間通知）。

・プロジェクターの使用時間があらかじめ指定しておいた時間に到達した場合、メンテナンス時期がきたことをメールで通知します（メンテナンス時間通知）。



■レポートタイミング

定期レポート

プロジェクターの現在の状態や設置状態などのレポートが定期的に発行され、メールで送信されます。

下記で送信するタイミングを設定します。

送信時間：レポートを発行する時間を指定します。１時間単位で設定できます。

毎週：このチェックボックスをチェックすると、毎週、指定した曜日にレポートが発行されます。

月／火／水／木／金／土／日：レポートを発行する曜日を指定します。複数の曜日を指定することもできます。

毎月：このチェックボックスをチェックし、ドロップダウンリストから日を選ぶと、毎月決まった日にレポートが発行されます。レポートする内容は、製品情報、ユーザー情報、使用時間、ランプモード、メモなどです。

メンテナンスレポート

ランプ使用時間通知：このチェックボックスをチェックし、テキストボックスにランプ交換時期の時間を設定しておくと、この時間が経過したとき、ランプ交換時期がきたことを知らせるメールを送信します。設定できる範囲は１～9999 時間です。

メンテナンス時間通知：このチェックボックスをチェックし、テキストボックスにメンテナンスの時間を設定しておくと、この時間が経過したとき、メンテナンスの時期がきたことを知らせるメールを送信します。設定できる範囲は１～99999 時間です。

「経過時間」に前回リセットしたときからの経過時間が表示されます。「リセット」のチェックボックスをチェックし、「適用」をクリックすると、経過時間が０にリセットされます。

■送信先

アドレス

各テキストボックスに送信先のメールアドレスを入力します。同時に４箇所に送信できます。各アドレスの最大入力文字数は 64 文字です。

レポートタイミング

定期：定期レポートを送信したいときにチェックします。

メンテナンス：ランプ使用時間、メンテナンス時間を通知したいときはチェックします。

エラー：エラーが発生したときに通知したいときはチェックします。

ご注意

・レポートタイミングで、送信日を指定しても「定期」のチェックボックスがチェックされていないとレポートは発行されません。また、「毎月」の指定日が存在しない月の場合は、月末にレポートを発行します。
・レポートタイミングで、「毎週」または「毎月」のチェックボックスがチェックされていない場合、曜日または日の指定はできません。

■メール形式

メール形式を「標準」と「シンプル」から選びます。

■メールアカウント

メールアドレス：割り当てられたメールアドレスを入力します。最大入力文字数は 64 文字です。

送信メールサーバー（SMTP）：メールサーバーのアドレスを設定します。最大入力文字数は 64 文字です。

認証が必要：メール送信に認証が必要な場合は、チェックボックスをチェックしてください。

メール送信に POP 認証が必要（POP before SMTP）：SMTP サーバーに接続する前に POP 認証を行う必要がある場合、チェックボックスをチェックしてください。

受信メールサーバー（POP3）：メール受信に使用する POP3 サーバーのアドレスを入力します。

アカウント名：メールアカウントを入力します。

パスワード：メールパスワードを入力します。

SMTP 認証が必要：メール送信時に SMTP 認証が必要な場合には、チェックボックスをチェックしてください。

アカウント名：メールアカウントを入力します。

パスワード：メールパスワードを入力します。

テストメール送信：指定したアドレスにメールが送信されるかどうか、テストメールを送信することができます。チェックボックスをチェックして「適用」をクリックすると送信されます。

ご注意

・テストメールは、以下の項目が設定されていない場合、または設定が正しくないと、エラーメッセージが表示され、送信できません。
  – 送信先のアドレス
  – メールアカウントのメールアドレスと送信メールサーバー（SMTP）

  メールの設定方法について詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

・Outbound Port25 Blocking を行っているネットワークでは SMTP サーバーには接続できないためメールレポート機能を使用することはできません。

■送信メールの確認

送信されるメールの内容を確認します。

高度な設定

「高度な設定」をクリックすると「Advertisement」、「PJ Talk」、「SNMP」、「PJ Link」、「Service」のボタンが表示されます。各設定項目は主に管理用のものです。詳しくは、お買い上げ店またはテクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。

ご注意

文字列が入力できるボックスに「'」「"」「¥」「&」「<」「>」の 6 文字は使用できません。

その他

故障かな？と思ったら

症状	原因と対処
プロジェクターが検索できない、プロジェクターと接続できない、途中で切断される。	・お使いのコンピューターにファイアウォールソフトウェアがインストールされていると、Projector Station for Air Shot Version 2 の通信がブロックされ、プロジェクターが検索できない、接続できない、途中で切断されるなどの不具合が発生する場合があります。 ➔下記の Projector Station for Air Shot Version 2 で使用している番号のポートがブロックされないように、ファイアウォールの設定を行ってください。ファイアウォールの設定方法は、お使いのファイアウォールソフトウェアの説明書を参照してください。 Projector Station for Air Shot Version 2 使用ポート番号： －51217 (TCP/UDP) －53125 (TCP/UDP)) **ご注意** 不用意にブロックを解除すると、ウィルスの攻撃を受ける可能性があり、危険な状態になります。ネットワーク管理者にお問い合わせの上、ファイアウォールソフトウェアの設定については十分に注意し、必要なポートのみ通信を許可するようにしてください。 ・プロジェクターとコンピューターのネットワークセグメント（サブネット）が異なっている。 ➔プロジェクター側で [PC 登録リスト]（14 ページ）、コンピューター側で [プロジェクター登録設定]（23 ページ）の設定を行ってください。 ・[オプション設定]、[基本設定] タブの [USB ワイヤレス LAN モジュールをシンプルモードで使用する] のチェックボックスにチェックがついている。 ➔本機では使用できません。チェックをはずしてください。 ・本機の機能設定メニューの「スタンバイモード」が「標準」に設定されていない。 ➔「標準」に設定してください。

症状	原因と対処
PC リストにコンピューターが表示されない。（プロジェクター）	・コンピューターに Projector Station for Air Shot Version 2 がインストールされていない、もしくは起動されていない。 ➔インストールしてください。 ➔Projector Station for Air Shot Version 2 を起動してください。 ・ネットワークケーブルがプロジェクターに接続されていない。 ➔ネットワークケーブルをプロジェクターの NETWORK 端子に接続してください。 ・プロジェクターとコンピューターのネットワークセグメント（サブネット）が異なっている。 ➔プロジェクター側で [PC 登録リスト]（14 ページ）、コンピューター側で [プロジェクター登録設定]（23 ページ）の設定を行ってください。 ・プロジェクターもしくはコンピューターのネットワークが正しく設定されていない。 ➔ネットワークの設定が接続先の機器と合っているか確認してください。
Projector Station for Air Shot Version 2 のメインウィンドウで接続状態なのにプロジェクターに画像が表示されない。	・プロジェクターの映像が消画（ミューティング）されている。 ➔リモートコマンダーの PIC MUTING キーを押してミューティングを解除してください。 ・入力 C になっていない。 ➔リモートコマンダーの AIR SHOT キーを押すか、INPUT ボタンで入力 C を選んでください。
プロジェクターに表示される画像がコンピューターの画像と違っている。	・アプリケーションやスクリーンセーバーによっては正しく画像を転送できない場合があります。 － DirectX を使用したアプリケーション － 動画を再生するアプリケーション － Microsoft Office のアシスタント － Microsoft IME ツールバー － マウスオーバーで表示されるツールチップ － MS-DOS プロンプトの全画面表示 ・コンピューターの［オプション設定］、［接続設定］で［PC デスクトップをプロジェクターの解像度に合わせる］のチェックをはずし、コンピューターの画面を XGA（VPL-CX155/CX125）/WXGA（VPL-CW125）より高い解像度で表示している。 ➔XGA（VPL-CX155/CX125）/WXGA（VPL-CW125）より高い解像度ではプロジェクターに表示される画像が劣化します。

症状	原因と対処
プロジェクターのWebページにアクセスできない。	・Projector Station for Air Shot Version 2のメインウィンドウにプロジェクターが表示されない。 ➔「PCリストにコンピューターが表示されない。（プロジェクター）」（32ページ）を参照してください。 ・ブラウザの設定が［プロキシサーバーを使用する］になっている。 ➔プロジェクターのIPアドレスを［プロキシサーバーを使用しない］に設定してください。 ・使用しているブラウザのバージョンが違う、またはInternet Explorer以外のブラウザを使用している。 ➔Internet Explorer 5/6/7のブラウザを使用してください。
プロジェクターに表示されるマウス形状がコンピューターと違っている。	・コンピューターの［オプション設定］、［接続設定］、［高度な設定］で、［マウス形状を追従して表示する］にチェックが付いていない。 ➔［マウス形状を追従して表示する］にチェックをつけてください。 **ご注意** プロジェクターに表示されるマウス形状は白黒表示となります。
プロジェクターに接続するとマウス動作が遅くなる。	・コンピューターを管理者用アカウント以外でログインして使用している。（Windows Vista/XP/2000のみ） ➔アドミニストレータ権限以外で使用すると、マウスの動作が遅くなる場合があります。 ・コンピューターの［オプション設定］、［接続設定］、［高度な設定］で、［ビデオアクセラレーターを“なし”で画像を取り込む］にチェックがついていない。 ➔［ビデオアクセラレーターを“なし”で画像を取り込む］にチェックをつけてください。 ➔推奨動作環境のコンピューター、OSでも、マウスの動作が遅くなる場合があります。

画面表示メッセージについて

PC: コンピューター上に表示されるメッセージ
PJ: プロジェクター上に表示されるメッセージ

メッセージ	PC	PJ	原因と対処
LAN モジュールを検索中です。	○		・［オプション設定］で設定された LAN モジュールの優先順位に基づいて PC 内の使用できる LAN モジュールを検索している。 ➔このメッセージが表示され続ける場合は、［オプション設定］、［基本設定］で使用する LAN モジュールを確認し再設定してください。
IP アドレスが設定されるまで待機します。	○		・使用する LAN モジュールに IP アドレスが設定されるまで待機している。 ➔このメッセージが表示され続ける場合は、使用する LAN モジュールのワイヤレス、ネットワーク設定を確認してください。IP アドレスが自動（DHCP）に設定されていると IP アドレスの設定に数分かかる場合があります。
接続可能なプロジェクターが存在しません。	○		・ファイアウォールによって Projector Station for Air Shot Version 2 の通信がブロックされている。 ➔「故障かな？と思ったら」（31 ページ）参照。 ・接続しようとしているプロジェクターと PC のネットワーク設定が異なっている。 ➔プロジェクターと PC のネットワーク設定を確認し再設定してください。 ・プロジェクターとコンピューターのネットワークセグメント（サブネット）が異なっている。 ➔プロジェクター側で [PC 登録リスト]（14 ページ）、コンピューター側で [プロジェクター登録設定]（23 ページ）の設定を行ってください。 ・コンピューターがワイヤレスネットワークを使用している場合、電波状態が極端に悪い。 ➔コンピューターをアクセスポイントに近づけたり、障害物を避けて見通しをよくしてください。 ・ネットワーク状態が悪い。 ➔ネットワーク管理者に相談してください。

メッセージ	PC	PJ	原因と対処
ネットワーク通信ができません。	○		・使用しているコンピューターで正常なネットワーク通信が行えない。 ➔Windows を再起動し、Projector Station for Air Shot Version 2 を立ち上げてください。 ➔Projector Station for Air Shot Version 2 で使用する USB ワイヤレス LAN モジュールの設定を確認してください。
プロジェクターで設定されているパスワードが一致しません。	○		・プロジェクターに設定されているパスワードとコンピューターに設定されているパスワードが違う。 ➔コンピューターのパスワードを［オプション設定］［プロファイル設定］でプロジェクターと同じパスワードに設定してください。
プロジェクターがビジー状態です。	○		・接続・切断しようとしているプロジェクターがすでに接続・切断処理をおこなっている。 ➔プロジェクターの処理が終了してから再度接続・切断を行ってください。 ・接続・切断しようとしているプロジェクターの［設定画面］が開いている。 ➔［設定画面］を閉じてから再度接続・切断を行ってください。
接続 / 切断しようとしている PC がビジー状態です。	○		・接続・切断しようとしているコンピューターがすでに接続・切断処理を行っている。 ➔コンピューターの処理が終了してから再度接続・切断を行ってください。 ・接続・切断しようとしているコンピューターが［オプション設定］を開いている。 ➔［オプション設定］を閉じてから再度接続・切断を行ってください。
接続 / 切断要求が拒否されました。	○		・接続・切断しようとしているコンピューターの［オプション設定］［接続設定］［プロジェクターからの接続 / 切断要求時の動作］が［常に拒否］になっている。 ➔［オプション設定］［接続設定］［プロジェクターからの接続 / 切断要求時の動作］を［確認ダイアログを表示］もしくは、［常に許可］に設定してください。

メッセージ	PC	PJ	原因と対処
プロジェクターはすでに接続されています。	◯		・接続・切断しようとしているプロジェクターがすでにほかのコンピューターと接続している。 ➔ほかのコンピューターと切断してから再度接続を行ってください。
接続しようとしている PC はすでに５台接続されています。	◯		・接続しようとしているコンピューターがすでに５台のプロジェクターと接続している。 ➔接続しようとしているコンピューターの接続台数を４台以下にしてから再度接続を行ってください。（１台のコンピューターで同時に接続できるプロジェクターは最大５台です。）
プロジェクターがスタンバイ状態です。	◯		・接続しようとしているプロジェクターがスタンバイになっている。 ➔プロジェクターの電源を入にしてから再度接続を行ってください。
プロジェクターから応答がありません。	◯		・ファイアウォールにより Projector Station for Air Shot Version 2 の通信がブロックされている。 ➔お使いのファイアウォールの設定を変更し Projector Station for Air Shot Version 2 の通信がブロックされないようにしてください。 ・ネットワークの状態が悪い。 ➔ネットワーク管理者に相談してください。 ・プロジェクターの電源コードがはずれている。 ・プロジェクターのネットワークケーブルがはずれている。 ➔プロジェクターの状態を確認してください。 ・プロジェクターまたはコンピューターのネットワークケーブルの接続を切った。 ➔Windows を再起動して Projector Station for Air Shot Version 2 を起動し USB ワイヤレス LAN モジュールによる接続を行ってください。

メッセージ	PC	PJ	原因と対処
PC デスクトップの解像度切換えができません。	○		・プロジェクターの LCD パネル解像度と異なる画面解像度に設定されたコンピューターにおいて、［オプション設定］［接続設定］［PC のデスクトップをプロジェクターの解像度に合わせる］にチェックされている状態で接続を行った時、コンピューターの画面解像度の切換えが正常に行われなかった。 ➔このメッセージが接続を開始する度に表示される場合は、［PC のデスクトップをプロジェクターの解像度に合わせる］のチェックをはずしてお使いください。
ネットワークアドレスが重複した LAN モジュールが存在しています。	○		・ネットワークで使用する LAN モジュールに割り当てられている IP アドレスと同じサブネットマスクをもつ IP アドレスが別の LAN モジュールに割り当てられています。 ➔Projector Station for Air Shot Version 2 で使用している LAN モジュールとコンピューターに搭載されているほかの LAN モジュールに設定されている IP アドレス設定を確認し、ネットワークアドレスが重複しないように設定を変更してください。
接続中に LAN モジュールがはずされました。	○		・プロジェクターと接続中に LAN モジュールがはずされた。 ➔接続中にUSBやPCMCIAのLANモジュールをコンピューターからはずしてしまうと、次回正常に接続ができなくなる可能性があります。USB や PCMCIA の LAN モジュールをはずす場合は接続を切断してから行ってください。
システムエラーが発生しました。Projector Station for Air Shot Version 2 を終了します。	○		・使用しているコンピューターのリソース不足などにより Projector Station for Air Shot Version 2 が正常に動作できない。 ➔Windows を再起動し、Projector Station for Air Shot Version 2 を立ち上げてください。
同一の IP アドレスが存在します。	○	○	・設定した IP アドレスがすでに使用されています。 ➔利用可能な IP アドレスを設定してください。
プロジェクターとの接続でエラーが発生しました。	○		・ネットワークの状態が悪い。 ➔ネットワーク管理者に相談してください。

メッセージ	PC	PJ	原因と対処
プロジェクターに接続できませんでした。	○		・複数のプロジェクターに接続した時、2 台目以降のプロジェクターの方が、1 台目より解像度が低いため表示できなかった。 ➔解像度の低いプロジェクターから接続してください。

用語集

DHCP
ネットワークに接続する機器に自動的にIPアドレスを割り当てる機能です。
個々の機器に固定のIPアドレスを割り当てるのではなく、DHCPサーバが必要に応じて自動的に各機器にIPアドレスを割り当てます。

IPアドレス
TCP/IPを使ったネットワークで、
ネットワークに接続している個々の機器を識別するために使用するアドレスです。

LAN（Local Area Network）
会社内や家庭内など、限られた範囲の中で使われるネットワークのことです。

MACアドレス
ネットワーク対応機器の製造時に、機器1台ごとに割り当てられる固有のアドレスです。
同じMACアドレスを持つ機器は2台存在せず、また、ユーザーがMACアドレスを変更することもできません。

Projector Station for Air Shot Version 2
ネットワークプレゼンテーション機能を使用するときに必要なアプリケーションソフトウェアです。お使いになるコンピューターにインストールします。

TCP/IP
ネットワークを構成するときに使われるプロトコル（通信規約）のひとつです。
インターネットの標準プロトコルがTCP/IPであることから、LANなどのプロトコルとしても多く採用されています。

サブネットマスク
IPアドレスからサブネットのアドレスを特定するためのビット列のことです。

デフォルトゲートウェイ
サブネットを越えて通信するためのサーバー（ルータ）のことです。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは
ホームページをご活用ください。

http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 0466-31-2531

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX（共通） 0120-333-389

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に
「203」+「#」
を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1